

ステークホルダーエンゲージメント

東京計器グループは、ステークホルダーの皆様との対話の機会を可能な限り設けて、事業の状況や事業を通じた社会課題解決の取り組みに関する説明や意見交換を行っています。今後も、情報発信のさらなる充実に努めていきます。

マルチステークホルダー方針

当社は、計測・認識・制御を核に独創技術で安全な社会と人々の幸せを実現することを使命と自覚し、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでいきます。そのうえで、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めていきます。

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組む、付加価値の最大化に注力します。そのうえで、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇

改善としても、従業員のエンゲージメント向上やさらなる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き取り組んでいきます。

- ・パートナーシップ構築宣言の登録日
2023年4月28日
- ・パートナーシップ構築宣言のURL
<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28872-05-21-tokyo.pdf>

3. その他のステークホルダーに関する取り組み

当社は、ステークホルダーの皆様との対話の機会を可能な限り設けて、事業の状況や事業を通じた社会課題解決の取り組みに関する説明や意見交換を行っています。今後も、情報発信のさらなる充実に取り組んでいきます。

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めていきます。

主なステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダー	コミュニケーション方法	対話窓口
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の営業活動 ・製品操作説明 ・トレーニング ・製品保守サービス ・各種展示会等 ・ハイドロリックスクール(油圧講習会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業部門(営業・サービス部署) ・コーポレート・コミュニケーション室
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> ・株主総会*¹ ・決算説明会*² ・各種決算説明資料のIR関連ページ上での開示 ・機関投資家との個別ミーティング*³ 	<ul style="list-style-type: none"> ・法務・ガバナンス室(株主総会対応) ・コーポレート・コミュニケーション室
調達先・協力会社	<ul style="list-style-type: none"> ・事業方針説明会の実施(協力工場、代理店、代行店) ・日常の調達活動 ・協力工場の監査 	<ul style="list-style-type: none"> ・資材管理室、各工場資材課 ・各事業部門(営業部署)
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・労使交渉・経営協議会(労使協議) ・各種制度説明会・社長との対話活動*⁴ ・評価面談 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事総務部 ・社長室
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地組合等との対話 ・地元自治会等との対話 ・工業団地近隣企業との地域清掃活動 ・地域の祭事(花火大会等)への協賛 	<ul style="list-style-type: none"> ・(本社地区)人事総務部 ・(各工場)工場管理課 ・(飯能)TKA管理課*⁵ ・(田沼)TPS管理課*⁶
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行政担当者との対話(自治体、警察、消防等) ・事故や不祥事発生時の政府機関対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・(本社地区)人事総務部 ・(各工場)工場管理課 ・(飯能)TKA管理課*⁵ ・(田沼)TPS管理課*⁶ ・社長室(政府機関対応)

- (注) *1 2021年6月開催から、総会後の動画配信を追加実施
 *2 2023年6月開催から、オンラインライブ配信ならびに説明会後の動画配信を実施
 *3 電話会議、ウェブ会議、直接面談で対応
 *4 コロナ禍のため1回ごとの参加人数を制限しての実施や、ウェブ会議対応を実施
 *5 TKA：東京計器アビエーション株式会社
 *6 TPS：東京計器パワーシステム株式会社

具体的な取り組み

展示会の再開

コロナ禍において2020年度、2021年度に開催中止となっていた各種展示会が、2022年度に入り再開され

ました。来場のお客様は、久々に実機に触れたり説明を受けたりできる機会とあって、弊社従業員と熱心にお話をされる光景が多く見られました。

2022年度出展の展示会

日付／展示会名(会場)	事業セグメント	出展内容	展示会の様子
2022年4月 Sea Japan 2022 (東京ビッグサイト)	船舶港湾機器	新型ECDIS、オートパイロット、自律化船コンセプト等	
2022年8月 下水道展'22 東京 (東京ビッグサイト)	流体機器 防衛・通信機器	超音波管渠流量計、電波レベル計等、小口径対応トンネル掘進用光ファイバージャイロコンパス等	
2022年9月 Shipbuilding, Machinery and Marine Technology trade fair (SMM) 2022 (ハンブルク/ドイツ)	船舶港湾機器	新型ECDIS、オートパイロット	
2022年9月 第30回 計量計測展 (東京ビッグサイト)	流体機器 油空圧機器	電波レベル計、超音波流量計等 小型水素圧縮装置	
2022年10月 2022 東京国際包装展 (東京ビッグサイト)	検査機器	素材検査装置、DAPDNA	
2022年11月 マイクロウェブ展 2022 (パシフィコ横浜)	防衛・通信機器	電磁波シールドテント マイクロ波紫外線空気殺菌装置等	
2022年12月 SEMICON Japan 2022 (東京ビッグサイト)	防衛・通信機器	ソリッドステートマイクロ波電源システム	

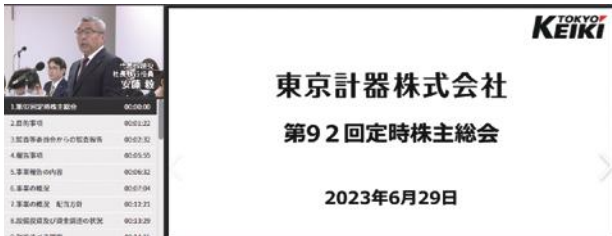
株主様とのエンゲージメント

当社は、株主総会を株主様との貴重な対話の場として捉え、当社本社会議室内で開催するほか、2021年6月開催の定時株主総会からは終了後のインターネット動画配信を行っています。これにより、ご来場をお控えている株主様や、遠方の株主様など多くの株主様に当社グループの事業活動の理解を深めていただけるものと考えています。また、海外の株主様がタイムリーに情報を入手できるよう、2022年6月より招集通知の一部を英文版として当社ウェブサイトに掲示しています。

当社の株主優待制度「東京計器プレミアム優待倶楽部」のウェブサービスを利用される株主様にアンケートを実施することで、これまで以上に株主様からの直接の声を聴くことが可能になりました。多数の株主様からの叱咤激励を経営活動に反映しています。さらに当サイトの「株主ポスト」機能を活用し、ご登録いただいた株主様へ当社からのさまざまな情報発信を行っています。

議決権行使については、2021年6月開催から電子議決権行使もできるようにし、株主様の利便性向上と、郵送物の削減による地球環境への負荷低減を実現しています。

第92回株主総会 動画オンライン配信



機関投資家様とのエンゲージメント

当社では、機関投資家様向けの決算説明会を2020年6月開催分から、コロナ禍での感染予防のためインターネット動画配信で実施していましたが、2023年3月期決算説明会は、オンラインライブ形式で開催しました。さらに、発言内容の理解を深めていただくため、書き起こしを第2四半期決算開示より実施しています。

また、IR面談時には、投資家の皆様からESGやROIC経営に関する当社の取り組みや事業の課題などについて、忌憚のないご意見を頂戴することが増え、投資家様との建設的な対話が進んでいることを実感しています。

2023年3月期決算説明会 ライブ配信の様子



メディアを通じた情報発信

当社グループは、ステークホルダーの皆様へ各種メディアを通じた情報発信により事業活動のご理解を深めていただくことに努めています。2022年度では当社グループの事業紹介や「人」にフォーカスした記事など、さまざまな角度から雑誌や新聞に取り上げられ、普段人目に触れる機会が少ないものの社会の中で多岐にわたって展開している当社グループ事業への理解を深めていただく機会を得ました。

メディアを通じた情報発信状況

日付	メディア	情報発信
2022年4月	経済界 [Company Report]	事業概要、成長事業の紹介
2022年5月	日刊ゲンダイ [語り部の経営者たち]	安藤社長インタビュー
2022年7月	月間事業構想 [海から広がる新ビジネス]	船舶港湾機器事業の紹介
2022年7月	財界[広報の窓]	当社広報責任者インタビュー
2022年11月	朝日小学生新聞 [なんでも実物大ずかん]	船舶用オートパイロットの紹介
2023年4月	航空情報	企業紹介

コーポレートサイトのリニューアル

2022年7月には東京計器のウェブサイトのリニューアルし、コーポレート情報を充実させました。大きな改善点は、サステナビリティページの新設、英文のIRサイトおよびサステナビリティページの新設などです。これにより、当社グループの持続的な成長に対する理解を深めていただければと考えています。

地域社会とのエンゲージメント

令和4年度 東京都「心のバリアフリー」サポート企業に登録されました。

東京都は、すべての人が安心、安全、快適に暮らし、訪れることができる福祉のまちづくりを推進しています。

誰もが円滑に移動し、さまざまな活動を楽しめるまちづくりを進めるため、施設設備だけでなく、すべての人が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続ける「心のバリアフリー」の重要性を謳っており、当社はこの推進に賛同しました。

今後は東京都と連携し、「心のバリアフリー」の3つのステップである「障害の社会モデルの視点でバリアを理解する」「コミュニケーションをとる」「適切な配慮を行う」を実践し、周囲の方々への思いやりの心を持ち、誰もが住みやすい地域社会への実現につながる活動に貢献していきます。

中学生の「職場体験学習」に協力しました。

2022年10月4日から6日の3日間にかけて、大森第八中学校(東京都大田区)の生徒2名が当社にて職場体験学習を行いました。同中学校では毎年、授業の一環として、地域のお店や企業の協力を得て仕事の体験を行っています。体験学習では、モノづくりの面白さや、当社の製品がどのように社会で役立っているかを知ってほしいという思いから、幅広い仕事体験を実施しました。船用機器システムカンパニーでのオートパイロットの実機操作や、油圧制御システムカンパニーの電子機器部で製造している建設機械用リモコンの操作など、生徒たちは普段は触れる機会のない製品に興味津々の様子でした。また、技術生産サービス室の試作課では、3DCADを利用したスマホスタンドの設計にも挑戦しました。慣れない設計作業は約半日かかりましたが、思い思いの形ものが完成し、製造業の仕事を肌で感じてもらいました。たくさん働く大人たちの姿に少し緊張していた様子の生徒たちでしたが、「お客様により製品を届けたいという思い



が伝わった」「製品を作るとき、自分のものを作るときと同じくらい心を込めて作る、という言葉が心に響いた」といった感想が聞かれました。社員による丁寧な説明を通じて、難しくも面白い製造業の世界を知ってもらえたようです。これからも当社では、地域社会との交流や製造業の未来を担う世代への協力を積極的に続けていきます。



「1day仕事体験」の開催

2022年2月2日および7日、東京計器本社にて検査機器システムカンパニーによる2024年卒の就活生向け1day仕事体験が開催されました。1day仕事体験とは就業体験機会の一つで、仕事に近い体験を通じた業界・職種・企業理解のためのイベントです。実機を用いた画像処理の性能評価体験では、ダミーの食品ラベルを高速で流動させ、印刷検査装置が検出した欠点を実際に目視確認しました。お客様が求める品質の高さや実際の印刷現場で起こる事象など、印刷検査にまつわる仕事の現状を当社の技術者がさまざまなエピソードを交えて伝えていました。コロナ禍の影響により、3年ぶりに対面での開催となりましたが、参加者からは、「実際の装置を見ることができ、社員の方への質問もしやすかった」という感想や、「印刷物の検査装置だけでなく、他の技術についてもこのような場を設けてもらえたらありがたい」といった要望もいただきました。

当社では、今後、複数部門協働でのインターンシップ開催などを検討し、より実務に即した就業体験の機会を広げていきたいと考えています。

